

4 年生への注意

2013.4.3

2010 年度入学の 4 年生については、年度末までに貸与 PC に関する手続きがあります。その際に、日本大学がライセンスを受けているソフトウェア (Mathematica) がインストールされたままではライセンス違反となりますので、アンインストールを確認することになります。

今年度の講義では、もう Mathematica を使わないならば、今回のソフトウェア調査の段階でのアンインストールを勧めます。アンインストールが確認された場合、ソフトウェア調査は今回が最後になります。

今回の調査で Mathematica のアンインストールがされていない PC については、卒業時にもう一度ソフトウェアの調査をしていただくことになります。

1 Mathematica のアンインストールの手順

Mathematica は付属しているアンインストールのプログラムを実行してアンインストールします。ゴミ箱に捨てるなどの方法で削除してしまうと、ソフトウェアチェッカーによる調査ではアンインストールが確認できなくなります。

複数の Mathematica がインストールされている場合は、次の手順でアンインストールを行なってください。この手順に従わないと、アンインストールができなくなります。

1. student 版 (Wolfram Mathematica 7 for Students) をインストールしているかどうかを確認する。
Student 版をインストールしているのは、情報センターのページからダウンロードしてインストールを行なった学生です。
1 年の講義で DVD からインストールしたものは、Student 版ではありません。
2. Student 版をインストールしている場合は、まず student 版からアンインストールしてください。
3. Student 版がない、または Student 版をアンインストールしたならば、full バージョンをアンインストールしてください。